

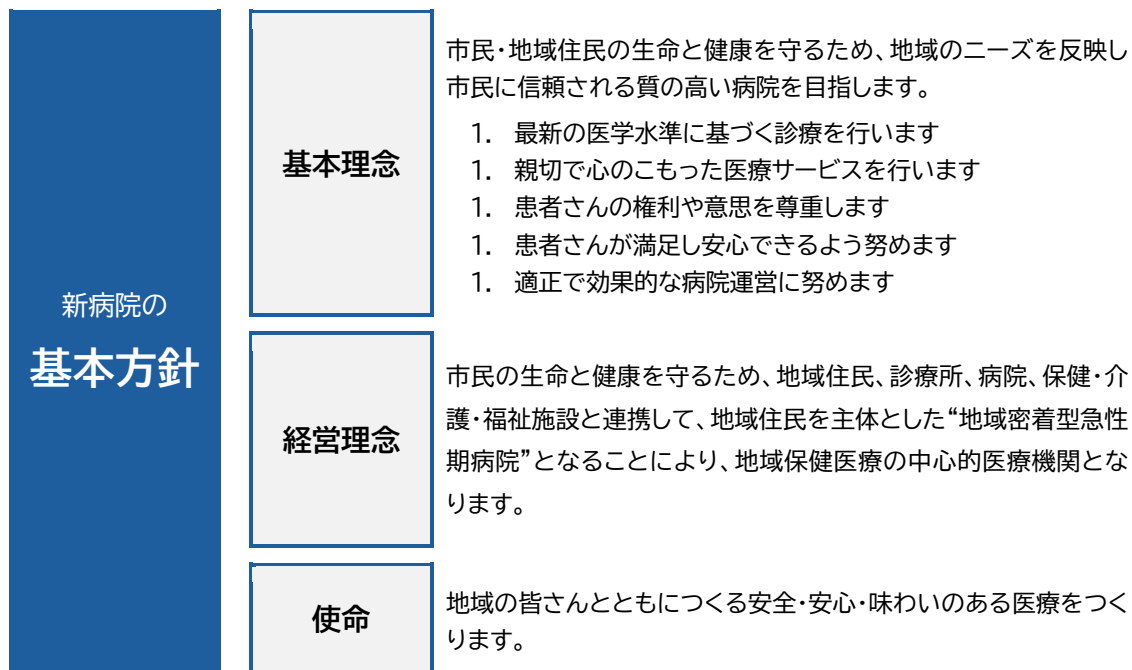
金沢市立病院 再整備基本構想

概要版



新病院整備の基本方針

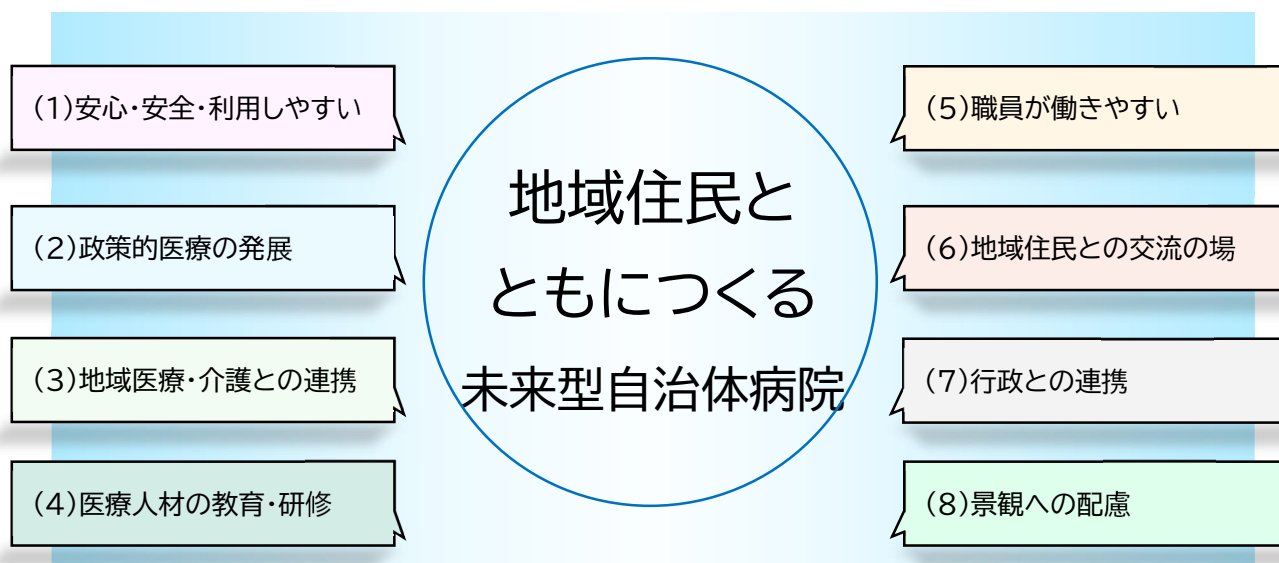
1 新病院の基本方針



2 新病院整備の基本的な考え方

「地域住民とともに作る未来型自治体病院」を新病院整備のコンセプトに掲げ

ます。また、当院は、救急医療、感染症医療、災害医療等の政策的医療の役割等を担っていくことから、これらを実現させるために、以下8つの方向性を新病院整備の柱とします。



8つの方向性における具体的な内容については次のとおりです。

(1)すべての患者にとって、安心・安全で利用しやすい病院づくり

快適な療養環境、温かみのある待合空間等、誰もが安全で安心して利用できる病院を目指します。

- ・利用者の移動に配慮した部門配置
- ・プライバシーに配慮した設備
- ・障害者等に対応したインクルーシブデザイン
- ・待ち時間の負担軽減等外来機能の充実
- ・災害時でもわかりやすい院内表示
- ・駐車場の充実
- ・高齢者に配慮した医療 DX の推進
- ・サイバーセキュリティ対策の強化
- ・居心地が良いドック空間

(2)公立病院に求められる政策的医療の発展を目指した病院づくり

① 救急医療

急性期病院として、二次救急医療の役割を果たし、持続可能な地域医療の確保に貢献します。

- ・診察室、処置室等の機能の充実
- ・救急室、手術室、HCU 間の効率的な動線
- ・救急車が入りやすいアプローチ
- ・1次救急に対応する夜間急病センター機能

② 感染症医療

通常医療と感染症医療の両立体制を確保し、第二種感染症指定医療機関、結核患者受入機関としての役割を果たします。

- ・陰圧対応個室病室
- ・感染症患者専用動線、トリアージスペース
- ・感染拡大時に転用可能な空間
- ・専用出入口を設けた発熱外来
- ・感染症対応消耗品等の備蓄

③ 災害医療

災害時においても病院機能を維持し続け、災害拠点病院としての役割を果たします。

- ・地震等の災害に対応した建物・設備の免震化
- ・水、食料等、十分な備蓄スペース
- ・DMAT専用の資機材置き場
- ・災害時の関連機関との連携や患者受入れスペースの確保を想定した病院設計

(3)地域の医療・介護機関と連携できる病院づくり

地域のかかりつけ医・病院・介護施設と連携し、医療・介護ネットワークを推進できる施設整備を目指します。

- ・在宅療養後方支援等、かかりつけ医との連携
- ・かかりつけ医との医療機器の共同利用
- ・登録医等が利用可能な会議室
- ・地域医療者が当院研修に参加できるスペース
- ・地域の医療機関等との診療情報の共有化

(4)医療人材の教育・研修・研究の場としての病院づくり

教育・研修・研究環境や医療環境を充実させ、医学生・看護学生や研修医・専攻医にとって魅力ある病院を目指します。

- ・講義・研修室
- ・動画視聴等が可能な自学・自習室
- ・研修医・実習生向けのスペースの確保
- ・最新医療機器の導入等への対応スペース

(5)職員が働きやすい病院づくり

職員間のコミュニケーションが円滑で、働きやすく、働きがいのある職場をつくれます。

- ・職種間連携が図れる配置
- ・目的・用途に合わせた会議室
- ・職員の休憩スペース
- ・育児と仕事の両立のための院内保育
- ・外部委託業者等も考慮した更衣室、控室

(6)地域住民の生活・交流の場としての病院づくり

文化活動・地域活動を行う「集いの場」を提供し、市民の健康寿命延伸に寄与します。

- ・市民向け講座の開催
- ・高齢者が交流できる「集いの場」
- ・誰もが利用できるコンビニ、カフェ等
- ・医療とアートが融合した安らぎ空間

(7)他の行政部門と連携する病院づくり

院内に福祉・健康部門等の行政サービスを提供する機能を一部整備し、市民生活の利便性向上を図ります。

- ・福祉と健康の相談窓口
- ・防災機能
- ・子育て支援のための病児保育室
- ・消防局と連携した更なる救急体制強化

(8)景観に配慮した、金沢市として特色のある病院づくり

病院に「金沢らしさ」を表現し、市民から愛される病院を目指します。

- ・金沢産の木材の使用
- ・病院周辺の緑化空間
- ・伝統工芸を活用した空間

新病院整備の概要

1 新病院の規模

新病院の病床数は、現状維持の306床程度を想定しますが、現在策定中の石川県医療計画との整合を図る必要があるため、基本計画で検討を実施します。

また、建物整備の具体的な規模については、基本計画策定時に検討します。

2 新病院の経営形態

現時点では経営形態の見直しは行わず、引き続き地方公営企業法の全部適用を継続していきます。ただし、今後も社会状況の変化、医療制度の変化を注視しつつ、必要に応じて経営形態の見直しを検討していきます。

3 新病院の移転候補地

移転候補地の選定にあたっては、南部地区・南部近郊地区において、候補地の検討評価を行った結果、現病院と立地条件が同等である平和町公園(平和町2丁目地内)を移転候補地としました。現敷地と比較すると狭小となりますが、整形地であることから、効率的な建物配置が可能であり、基本計画において必要な医療機能を検討します。なお、新病院の機能強化等については、必要に応じ、現敷地の一部活用や周辺用地の取得についても検討します。

■ 位置図



4 新病院の整備予定スケジュール

新病院整備の手順は、基本構想から、内容をより具体化した基本計画を経て、基本設計、実施設計といった設計段階後、建設工事を行う流れのように、公立病院建替えとして一般的な手順を取ります。

令和6年度は、基本構想を踏まえ、基本計画を策定することとし、現病院における老朽化の現状を考慮して、事業期間の短縮を含めて整備手法等の十分な検討を行います。

金沢市立病院の現状

1 金沢市立病院の概要

所在地	石川県金沢市平和町3丁目7番3号
病床数	306床(一般病床275床、結核病床25床、感染症病床6床)
診療科	21科目(内科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、泌尿器科等)
主な機関指定	救急告示病院、災害拠点病院、第二種感染症指定医療機関、地域がん診療連携推進病院、地域医療支援病院、紹介受診重点医療機関等

2 老朽化の現状

現在の病院施設・設備は、平成13年の医療法改正前に建設された建物であり、老朽化の進行や、建物の狭隘化が課題となっています。

■ 建物配置と建物経年変化状況(一例)



記号	建物名	竣工時期	延べ床面積
A	本館	昭和63年5月	18,175㎡
B	別館	平成元年3月	1,255㎡
C	東館	平成11年8月	3,079㎡
	全体		22,509㎡



3 公立病院に期待される役割

当院は、第二種感染症指定病院として、新型コロナウイルス感染症流行初期より患者の受け入れを積極的に行い、地域の感染症医療に大きく貢献してきました。

今後も公立病院には新興感染症の発生早期及び流行初期への対応として中核的な役割を担うことが期待されているため、一定の病床確保等、引き続き医療提供体制を維持し、通常医療と感染症医療の両立を図っていくことが重要となります。